

令和6年度 立川市立立川第一中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○知性を磨いて個性を伸ばそう（知性） ◎敬愛の心を深めて良い市民になろう（敬愛） ○勤労を愛し責任を果たそう（勤労）
---------	--

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ喜びを味わい、自らの個性や能力を伸ばす。 ○地域や社会の発展に貢献し、思いやりの行動を実践できる。 ○生命の尊さを理解し、お互いを尊重できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力育成のため、授業でICTを効果的に活用する。 ・ユニバーサルデザインに基づく環境設定を行う。 ・立川一中授業展開スタンダードを基に、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開する。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて論理的な文章を整える力を伸ばす。 ○自分から主体的に学びに向かい、自分なりに工夫する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動を重視する。 ・自分から課題を見付け、自分で課題解決をする活動を重視する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○定期検査や学力テスト等の結果から、特に1、2年次の基礎学力の育成が課題として挙げられる。そのため、早期から基礎的・基本的な知識や、様々な種類の資料を活用する技能の育成を目指す。 ○授業の様子から、人前で自らの意見を発信することが苦手な生徒が多い。そのため、発信力や発言力の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次から、定期検査以外にも単元ごとの小テストを繰り返し実施し、基礎的・基本的な知識を定着させる。また、ワークシートやタブレットを活用し、授業内でさまざまなグラフや写真等の資料に触れる機会を設け、複数の資料から必要な情報を取り出す力を養う。 ・ICTを活用し、全員が自分の意見を発信できる学習活動を設定する。ただし、ICT機器を用いた活動に偏重しないよう、グループでの話し合い活動も取り入れながら、発言力を身に付けさせる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な計算を正確に解ける力を伸ばす。 ○文章題や図形において、どのように解決するか、なぜそうなるかの根拠を理解し、考える力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの学力に応じた計算問題を反復練習して知識の定着を図る。（途中式を書く習慣を付けさせる。） ・生徒同士の話し合い活動を通じて、既習事項と現在の学習内容を関連付けて解き方の根拠に着目させる。また、生徒が相互に説明し合い、理解の充実を図る活動を重視する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「数値・グラフを読み取る力」や「計算によって導き出す力」を伸ばす。 ○観察・実験から、課題に対する自らの考えを科学的に考察できる力を伸ばす。 ○他者の考えを聞き、自らの考えを伝える力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グラフや表の作成・読み取り」や「計算を用いた活動」をおこない、科学的な事物・現象と関連付けて活動を増やす。 ・「一人一人が分析→グループで共有・検討」という過程を繰り返すことで科学的に考察する際の見方・考え方の幅を広げる。 ・ペア、小グループ、クラス全体と順に伝える範囲を段階的に広げ、他者に考えを伝える場面を設定する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けられるようにする。 ○聴く力を育てることで音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいクラス合唱の基本となる表現力をつける。 ・ワークシートを活用し、音楽のよさや美しさを味わいながら聴く力を身に付け、思いや意図を表現させる。 ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽表現を創意工夫する活動を取り入れる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○表現の意図や工夫について考え、豊かな発想を生み出し、構想を練る力を伸ばす。 ○造形的なよさや美しさを感じ、創造の喜びを味わい、一生懸命に制作に取り組む力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作においては、考え、着想する時間を確保し、考える過程を紙面上に留めさせる。 ・見る力や感じ取る力、考える力、描く力を育成するために鑑賞の時間を充実させる。また、粘り強く制作に取り組む力を育むために、スケッチの学習を効果的に取り入れる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な体の動かし方・コツを理解し、その習得に向けて繰り返し取り組む力を伸ばす。 ○健康に生きていくための知識を身に付け、生活場面で考えて行動に移す力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットや視覚教材を活用したり、仲間と協力して取り組む場面を設定したりして、体の動かし方やコツをつかめるようにする。 ・生活の場面を想定した課題を設定し、その課題を解決する学習を通して、自身の心身と向き合う場を設ける。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○実習などを通して、生活の課題を解決する力を伸ばす。 ○基礎的・基本的な技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習において、作品製作を行うだけでなく、実生活の局面を想定した課題を設定し、その課題を解決するような作品製作を行う。 ・作品製作や実習などを通して、生活に必要な力を身に付ける機会を設定する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○4技能のうち特に「話すこと」に特化し、さらにその中でも即興性のあるやり取りの力を伸ばす。 ○表現力を伸ばすために、「話すこと」に加え、「書くこと」の力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのチームティーチングを有効に使い、即興性のある対話の機会を多くもち、さらにALTを評価者として、パフォーマンステストを実施する。 ・英語を書く必然性のある設定を行い、課題英作文や、書くことを活用した作品制作を行う。